

伊与喜小学校

児童自身がPDCAサイクル
自学力をつける取組を

校長 川村 美香



◆日本一小さな学校になりました

本年度は、全校児童数1名(6年生1名)、教職員数3名で学校生活をスタートしました。家庭数も当然1家庭で、保護者と職員がワンチームとなり、あらゆる教育活動に取り組んでいきたいと考えています。また、1名学級をプラスと捉え、その良さを活かしながら、工夫改善を図りつつ、保護者・地域・学校が三位一体となった教育活動を積極的に進めていきます。

◆学校教育目標

『自ら学ぶ意欲と豊かな心を育み、たくましく未来を切り拓く児童の育成』

「できるがいつぱい、

笑顔がいつぱい、

元気がいつぱい、

楽しい学校」

◆自学力をつける取組を推進します

基礎的・基本的な学力の定着および向上に向けて、個に応じたきめ細かな指導を徹底し行うとともに、学習単元の導入段階から、児童自身がPDCAサイクル(計画↓学習↓振り返り↓反省からの学習)を回し進めるなど、自学力をつける取組を積極的に進めています。また、ICT機器を日常的に活用することで、児童自身の思考の深まりにつながったり、時には外部となぎ多様な考えに触れるようにするなど、学ぶ楽しさ、わかる喜びが実感できる授業づくりに努めています。

場面、肯定的評価を意識的に取り入れていくことで、自尊心および自己肯定感の高揚を図っています。また、居心地がよく伸び伸びと成長できる学校であるよう、学校行事に限らず体験活動を積極的に取り入れていきます。体験活動は、他者を見つめる力や共感力の育成にもつながり、キャリア教育の視点からも、自己の夢や希望および目標をもてる児童の育成にもつながると捉えているからです。教科指導(道徳)では、自分自身への気づきや自分と向き合う時間、新たな自分自身への気づきから人との関わり方や社会との関わり方について考えるなど、自らの生き方を考える道徳となるよう、授業展開の工夫改善に努めています。

◆思いやりの言葉や行動があふれる学校をめざします

学校における全ての生活

◆体力および運動能力の向上に取り組みます



能の向上だけでなく、自学力にもつながると考えているからで、児童自身の夢の実現にまでつながることを大いに期待しています。

◆1人だからこそ社会性を育む取組を推進します

本校の強みは、「児童に目が行き届くこと」「児童に最後まで寄り添えること」「児童・保護者・学校がワンチームで頑張れること」です。その強みを活かしながら、社会性を育む取組も積極的に行っていききたいと考えています。

児童の、運動に対する意欲が高まる体育の授業実践に努めています。また、年間を通して行う朝運動あるいは業間運動に、児童自身が伸ばしたい運動技能をとりあげ実践しています。

児童自らが目標値を設定し、達成するための運動メニューをも自身で調べ、PDCAサイクル(計画↓運動↓振り返り↓反省からの運動)を回すことで運動能力を上げていくことを目的としています。興味のあるスポーツからつけていくことでより意欲化が図られるとともに、体力や運動技

昨年度と同様に、今年度も、「命を尊び、明るい未来を、故郷を愛する心を、故郷を誇りに思う心を大切に、故郷の明るい未来を創造する児童の育成」に向けて、取組を進めていきます。

